

福島県田村市と連携協力協定を締結

12月14日、本学と福島県田村市は、「持続可能なまちづくり」に向けた活動や、経済・社会・環境・外国語に関する研究・教育を推進していくための連携協力協定を締結した。本協定は、本学が採択された、福島イノベーション・コースト構想推進機構の「大学等の『復興知』を活用した人材育成基盤構築事業」の実施にあたり、福島県田村市で「環境に配慮した持続可能なまちづくり」の仕組みを構築し、その取り組みについて情報発信と国際交流を進めていく創造事業を推進するために締結されたもの。本学で行われた締結式では、田村市から白石高司市長らが、本学からは、山路朝彦学長、岡垣知子副学長、本事業責任者である米山昌幸経済学部国際環境経済学科教授、そして松枝秀和同学科教授が出席した。なお、事業は11月から本格稼働し、田村市の地域資源と地域課題を把握するとともに田村市観光サイト等の多言語化を進めるために、活動に賛同した本学教員と在学生在が現地に赴き、観光資源・地域資源に着目した現地調査等を行っている。



国際環境経済学科・環境共生研究所共催 Earth Week Dokkyo 2021 ~Winter~ 開催

12月6日から11日まで、学内各所で獨協大学環境週間「Earth Week Dokkyo 2021 ~Winter~」が開催された。前回に引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンラインイベントと対面イベントを併用しての開催となった。期間中は「～環境と開発を両立させて、持続可能な社会を創る～」というテーマのもと、多くのイベントが行われた。

対面でのイベントでは、学生団体From us to earth による「蜜蝋ラップづくり」やEarth Week Dokkyo実行委員会と米山昌幸ゼミによる卵の殻と廃油をリユースした「エッグキャンドルナイト」などが実施された。また、オンラインイベントでは学生団体THE Me主催の「みんなで話そうジェンダーのこと」やPIR Dokkyoによる「日本で見過ごされる人権～入管医療体制～」など学生が地球の問題について楽しく学べるイベントを多数実施した。



中庭で輝いたエッグキャンドルの灯

2021年度「子ども大学そうか 第4回」開催

10月16日、創立50周年記念館(西棟)で「子ども大学そうか」の4回目の授業が行われ、草加市内の小学生32名が参加した。

今回は大坪史治経営学科准教授による講義「大人になったらなにになりたい?自分に合う会社を選んでみよう!」が行われた。

授業冒頭、「将来なりたい職業は?」という質問に対して、「バドミントン選手」や「一級建築士」など様々な声が上がった。その後、大坪准教授手作りのおもちゃのお金を使い、本屋の経営を例にとりて会社のお金の流れを学んだ。また、投資や借金の考え方を学びながら、それぞれの将来の会社選びの基準を作っていた。

大坪ゼミナールの学生アシスタントの力を借りながら、子ども達がグループで数字を使って熱心に議論する様子が印象的だった。



熱心な子ども達に応える大坪准教授

福岡県と就職支援連携協定を締結

本学と福岡県は、相互に連携・協力することを目的として、UIターンに関する就職支援協定を締結した。本学は、この協定に基づき、福岡県へのUIターン就職を希望する学生に対して合同企業説明会・地元企業の求人などの情報提供を行い、福岡県への就職を促進していく。

なお、埼玉県内の大学が福岡県と就職支援協定を締結するのは初となる。また、本学が就職支援協定を結ぶのは福岡県で10県目となる。

【主な連携・協力内容】

- (1) 学生に対する就職関連イベント、県内企業等の情報発信に関すること。
- (2) 大学が行う合同企業説明会、保護者向けの就職セミナー等の開催に関すること。
- (3) 福岡県が行う学生向け就職支援サービス等への登録呼びかけに関すること。
- (4) 学生の福岡県へのUIターン就職に関する情報及び実績把握に係る調査等に関すること。
- (5) その他、学生の福岡県へのUIターン就職促進に関すること。

第5回図書館講演会を開催

10月27日、第5回図書館講演会が開催された。対面での実施は2年ぶりとなり、学生・教職員合わせて約50名が参加した。今回は、原成吉英語学科教授が『なんでシンガーソングライターにノーベル賞?—ボブ・ディランのコトバの世界—』というテーマで講演した。

原教授は、著名な詩人たちの言葉を引用しながら、まずロックの歌詞と詩の違いや、詩と歌のルーツについて説明。その後、「ポエトリー・リーディング」や「ビート・ムーヴメント」といったアメリカ詩の伝統を例示しながら、ディランの「歌われる現代詩」の魅力について語った。曲を鑑賞する場面もあり、参加者はディランのコトバの世界に入り込んだかのように聞き入っていた。

